

医学、福祉研究 16件に助成金

川崎振興会

県内の医学、医療福祉分野の研究者らを支援する「川崎医学・医療福祉学振興会」は1日、2020年度の助成対象16件に計368万円を贈った。

倉敷市松島の川崎学園で贈呈式があり、園尾博司理事長が代表者に承認書と助成金を手渡した。教育研究の助成を受けた川崎医療福

祉大視能療法学科の藤原篤之助教が「医療・福祉に貢献できるよう日々精進してまいりたい」と述べた。振興会は03年に設立され、今回を含め29



園尾理事長(右)から承認書と助成金を受け取る代表者(川崎学園提供)

8件に総額7915万円を助成。20年度は35件の申請があった。ほかに助成を受けたのは次の皆さん。(敬称略、地域連携・交流は申請者と事業名)

- 【教育研究】福原真一、山形高司(川崎医療福祉大) 浅野澄恵、和田雄治、森脇隆仁、綾木麻紀、清水真次朗、渡邊昂(川崎医科大学) 岩本高典、和田佳久(川崎医科大学大学院) 藤原英晃(岡山大病院)
- 【地域連携・交流】山本裕(第183回岡山外科会・第6回日本臨床外科学会岡山支部会) 平本美津恵(日本医療マネジメント学会第25回岡山県支部学術集会) 石橋直大(看護師特定行為シンポジウム in Kawa saki)

【国際教育・研究交流】松生香里(川崎医療福祉大)

(山内悠記子)